

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより 第12号
(令和6年10月)
文責 堀江 泰賢

「文化の秋」を堪能しました！ ～ 令和6年度「文化祭」が開催されました ～

10月25日(金)、令和6年度 田平中学校 文化祭を、本校体育館で開催しました。今年度の文化祭は、「文化的活動を通して、表現や鑑賞の能力を高め、創造性や豊かな情操を育てる」とこと「集団活動を通して、協力的な人間関係や連帯感を育てる」とこと、そして「生徒の主体的な活動を通して、個性の伸長を図るとともに自主性を高める」ことを目的として開催しました。また、今年度も、保護者の皆様だけでなく、ご来賓として地域の皆様方にもご案内を申し上げ、また、例年どおり佐世保特別支援学校北松分校の小学部・中学部の児童生徒の皆さんや先生方にも参観・参加していただくことができました。

当日は、午前の部では、少年の主張や英語スピーチ、国語科の発表、吹奏楽部の演奏があり、午後の部では、学級対抗の合唱コンクールが実施されました。さらには、会場の後方や壁面には各教科等の作品が展示され、これまでの学習の成果が、会場いっぱいに表現され、参観者に大きな感動を与えてくれました。

また、当日の司会進行や合唱コンクールの運営に携わってくれた文化祭実行委員会や合唱実行委員会の皆さん、立派なテーマパネル『Over The Top ～ 限界を超えて さらなる高みへ ～』を製作してくれた美術部の皆さん、素晴らしいオープニングの企画をしてくれた生徒会役員の皆さん、そして、前日の会場準備と展示物の準備に、一生懸命、取り組んでくれた生徒の皆さんなど、文化祭の企画・準備・運営に関わってくれたすべての生徒の皆さんのおかげで、素晴らしい文化祭が開催できました。本当にありがとう！！



グローバルな人材の育成へ向けて ～ 第12回 平戸市イングリッシュ・スピーチコンテスト ～

10月26日(土)、たびら活性化施設において、平戸市教委主催の英語スピーチ大会が開催されました。この大会は、平戸市が進めている「イングリッシュ・タウン事業」の一環として、中学生の英語力の向上をめざして行われているもので、一昨年度から、「英文の暗唱」形式から「英語での弁論」形式へ変更となり、今年度も「私のふるさと」を題材として、自分の考えや伝えたいことを英語で発表しました。

本校からは、3年生の松田桜愛さんが『The one and only Hirado』と題して、同じく3年生の木村樹里さんが『My hometown』と題して、それぞれ、ふるさと平戸・田平について、自分の考えを堂々と発表しました。二人とも、日頃の学習で身に付けた英語力と、英語担当の長嶋先生やALTの先生方との練習の成果を大いに発揮し、ふるさとへの自分の想いを、流暢な発音と豊かな表現力で発表してくれました。審査の結果、残念ながら上位入賞とはなりませんでした。多くの聴衆の前で、たいへん立派な発表でした。松田さん・木村さん、田平中学校の代表として、立派な発表をしてくれて、ありがとう！

